

---

---

# 1 社会経済の動向と室蘭市産業の概況

---

---

## 1.1 社会経済環境と産業活動の動向

### 1.1.1 社会経済環境の大きな変化として

- 人、物の移動のみならず、資本も含めて海外との結び付きが大きくなってきている。今後さらに、企業活動を中心として国際化は進展していくことから、地方圏においてもその対応が求められる。
- 90年代最もインパクトがあった技術革新は情報技術である。産業活動、生活など社会経済のあらゆる面で情報化が進み、情報通信ネットワークを中心に新たな事業分野が成長するなど、大きな影響を及ぼしている。
- 出生率の低下などを背景とした少子高齢化は今後急速に進むことが予想されている。労働力人口の減少による経済活力・競争力の減衰や財政負担の増大などが懸念されており、新たな社会構造の構築が求められている。
- 経済活動が拡大する一方で、大量消費・大量廃棄による環境への負荷が顕在化してきている。環境問題の対応に向けた意識・行動は先進各国で高まっており、地域社会はその行動主体として大きな役割が求められている。
- 社会経済の成熟化、価値観の多様化は、政治・経済・社会の多くの面から中央と地方との位置付けを変えようとしている。地方の時代といわれて久しいが、これまで以上に実体の伴ったものとして地方分権が推進され、地方の機能・役割が高まることとなる。

### 1.1.2 産業活動においては

- 円高を契機としてわが国企業の国際活動は一層深化・多様化した。冷戦体制の崩壊やアジア諸国を初めとした工業化の進展によって、加工組立型産業においては世界最適地調達・生産が当然の指向となり、その状況は市場化・グローバル化などといわれている。
- こうした国際化の進展は、国際分業体制の構築を促し、わが国の産業活動においてはより付加価値の高い活動へという圧力になっている。さらに、情報化の進展、国内市場の成熟化、サービス化などもあいまって、わが国は産業構造の変革期に置かれている。

- 社会経済の発展を支えてきた技術革新は、今もなお進展し続けている。わが国の産業も応用技術、生産工程技術等を中心として大きく貢献してきた。今後も、国内的には産業活動の高度化、国際的には基礎・先端分野での貢献などを背景として、さらに充実した活動が求められている。
- その中であって、わが国の高度成長期を支えてきた素材産業は、石油危機や円高などの影響を受け合理化や技術開発等に取り組み、世界をリードする生産体制を維持してきたが、ここ数年の需要の低迷、国際競争の激化により、供給過剰・設備過剰が顕著になるなど、さらに厳しい局面を迎えたとされている。
- 一方、ベンチャー企業の育成を中心とした新産業創出の必要性が高まり、近年ではその環境が充実しつつある。また、オンリーワン、ニッチトップなどといわれる特徴的な中小企業の活動が注目されており、地域産業の振興を考える上でも大きな視点となっている。
- 以上のような環境変化の中で、地域経済においては、産業の空洞化、工場立地の激減、地方財政の悪化、公共投資依存など、多くの構造的な問題が顕在化することとなった。